

加盟団体 各位

(公社) 全日本アーチェリー連盟  
理事長 宮崎 利帳  
(公印省略)

### 事務処理への再確認と協力依頼

日頃より、本連盟の活動にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

最近、事務処理担当者の不注意などによる失念(ミス)により、団体への信頼を損なうような事例が発生しました。これらの事例は、確認忘れ、担当者の間違った思い込み、メール等の確認漏れ転記ミスなどで、日常業務の中での不注意・不作為、気の緩みなどが原因であるのではないかと考えられます。

しかし、これらの問題は日々精進し自己の記録更新や全日本アーチェリー連盟競技大会への参加をめざし努力をしている選手からの信頼喪失や、損害を与えかねないリスクが潜むことを改めて十分認識するとともに、他の加盟団体で発生した申請処理ミスはいつでも自分のところでも起こり得るということを意識し、ミス等の再発防止について、本連盟役員も含め全組織一丸となって取り組んで参りたいと思います。

なお、発生したミスについての内容を公表し共有します。

#### ケース 1

「公認競技会（変更・中止）届」提出失念により、選手申請得点が公認されない。

提出済みとの思い込みにより発生。発信確認記録又は処理済みのファイル保管と処理をしていない。

- ・公認競技会の申請は競技会前日までに事務手続きが完了する事が義務付けられています。すなわち、競技会後の成績結果により追加公認申請する事を防止しています。

#### ケース 2

〇〇氏は「個人申請書」を所属県の締切期限を厳守し事務局に申請したが、県事務局担当者は個人申請の受付パソコンでのメールのチェック漏れをして1名欠落している状態で申請を取りまとめ送付してしまった。そして通過選手発表後に気づいたことにより問題が発生している。事務担当者の確認ミスであった。

### ケース 3

10月2日に公認競技会を開催し、参加選手の頑張りによりコンパウンド Final Match(15射) 148点を樹立し日本新記録が誕生した。

連盟への「新記録承認申請書」の提出が遅れ10月24日付けで発送、連盟受理10月26日であった。しかしこの間の10月21日～23日つま恋にて全日本アーチェリー選手権大会が開催され23日にコンパウンド Final Match(15射) 148点が樹立される。連盟は規定に従い23日樹立された日本新記録を認定し公開した。

「新記録承認」は申請書に記載されている申請日を記録認定日として処理を進めることの確認と認識の違いにより発生しています。

### ケース 4

2017年度ナショナルチーム選考会への出場選手決定通知において選手の所属名の表記ミスが発生した。

選手決定通知文作成後の読み合せにおいて確認を怠ったことが原因と考えられる。

複数人数での読み合わせと「申請書」原本との整合性についての確認義務への認識の弱さが引き起こしている。

以上